

常任委員会

市の事務に関する調査及び議案・請願等の審査を行うための常設の委員会です。

本会議で付託された条例制定や補正予算などの案件等について、3つの常任委員会で審査をしました。議案についてはすべて原案どおり可決・認定し、陳情については採択としました。

審査の概要と、主な質疑(本定例会最終日の委員長報告から抜粋)については、次のとおりです。

■ 総務文教常任委員会

糸魚川市監査委員条例の一部を改正する条例の制定等5件、補正予算1件、決算認定4件、陳情1件を審査しました。また、「保育料の算定誤りについて」、「乳幼児健診の体制について」、「学校給食における事故対応について」、「教育委員の服務について」及び「能生体育館整備事業について」の所管事項調査を行っています。

消防水利について (一般会計歳入歳出決算認定)

質問 消防水利における防火水槽、消火栓の考え方と整備状況、今後の整備計画はどうか。

答弁 消火栓又は防火水槽のない地区が、現在20か所あるが、消火栓、防火水槽の設置を平成35年までに完了させる計画である。上水道の消火栓は5基同時の使用が可能であるが、簡易水道では1基しか使用できない場合があり、現在、下早川、根知の上水道化などに向けて、ガス水道局と地元との協議の中で進めている。

チーム糸魚川推進事業 (一般会計歳入歳出決算認定)

質問 チーム糸魚川には大変期待しているが、メーリングリストの作成や配信システムなど、交流人口、定住人口の拡大に触れる手前の事業に留まっている。実行部隊、実践部隊というイメージを持っているのに現実はそのようになっていないが、どのように考えているか。

答弁 当面できることとして、ふるさと糸魚川応援隊事業に取り組んでいるが、それでいいとは思っていない。地域づくり、交流人口の拡大、市のあるべき方向性などの意見交換の場づくりや、連携しての事業実施などができるように持っていきたい。

権現荘リニューアル事業 (柵口温泉事業特別会計歳入歳出決算認定)

質問 リニューアルに関わる収入減という説明だが、リニューアルによる実質的影響と、リニューアル後の状況はいかがか。

答弁 平成26年度中は、工事着手前の7月、8月の売上の減少、主に夏場の入込客数の減少の影響が大きい。本年度は7月の下旬から全面リニューアルオープンしたが、8月は昨年の宿泊者数1,532人に対して1,733人の増であり、売上に関しても対前年で30%の増収となっており、お客様から選んでご利用いただいている状況である。

■ 建設産業常任委員会

糸魚川市スキー場条例の一部を改正する条例の制定1件、補正予算1件、決算認定6件を審査しました。

新幹線開業期観光促進事業 (一般会計歳入歳出決算認定)

質問 開業前は1日平均2,700人の利用者を見込んでいたが、現状でどういう数字をおさえているか。

答弁 新幹線では、7月の段階で1日約1,000人の乗降、トキメキ鉄道は正式には発表されていないが、駅の乗り降りで900人が1,000人、大糸線が今までより大分増えているという数字もあるので、9月末の段階でいろいろな数字をトータルし、ジオパルも含めて全体的なものをまとめたうえで、観光に対して今後どう戦略的にやるべきか検討したいと思っている。

雇用促進事業 (一般会計歳入歳出決算認定)

質問 地元就職の実数としてはどのようにつかんでいるか。

答弁 具体的な地元就職の数は把握しきれていない。毎年春の「がんばれニューフェイス」で市内の企業に就職する方が約120名前後参加ということで、これが市内で職に就いている方の数だろうと思っている。今後、しっかりした数字の把握に努めていく。

